

熊谷恒子記念館の臨時休館について

熊谷恒子記念館は、現代女流かな書の第一人者として活躍した熊谷恒子氏が生前住んでいた居宅（昭和11年築）を改装し、平成2年4月に開館した。記念館では、各書道展の審査員を務め、大学で教鞭も執るなど書道界で活躍した同氏の書を展示してきたが、施設の老朽化に伴い長寿命化工事を行うため、下記のとおり臨時休館する。

記

1 理由

木造建築物である当館は、令和元年10月の台風19号によって雨漏りが発生し、応急処置を行ったものの、雨漏り跡は残ったままである。その後、屋根改修のための調査を実施したところ、複数の箇所において亀裂や腐食等も確認され、来館者からも見える状態となっている。当館は、昭和初期に建築された築85年となる建物であり、老朽化も進行している。今後も長く使用していくためには改修を要すること、また、近年は台風による被害が甚大化しやすいことから貴重な作品・資料の汚損を防ぐためにも、作品等を退避させ、当面の措置として臨時休館し、長寿命化工事を実施する。

2 臨時休館期間

令和3年10月15日～令和4年3月31日（予定）

※今年度に改修のための実施設計を行う。令和4年度に予定する長寿命化工事の工期を確認後、改めて休館について報告する。

3 代替対応

臨時休館中、作品の代替展示については、今後（公財）大田区文化振興協会（指定管理者）とともに検討する。

4 周知方法

（1）区報（10月11日号）

（2）区ホームページ、（公財）大田区文化振興協会ホームページ・ツイッター